

ンチンのメンドーサに向かう列車が雪で不通となり、雪のアンデス越えをしてアルゼンチンにたどり着いた一行7名のうち2名も外語の卒業生だったそうです。（「アルゼンチン日本人移民史」より）

日本から一番遠い国の一つであるアルゼンチンに100年も前にやってきた卒業生が何人もいたとは、さすが外語だなと改めて感じた次第です。

イタリア支部総会のご報告

1 昭 49 大島悦子

2010年11月13日(土曜)のお昼にミラノで「東大イタリア支部総会」を開催しました。場所はミラノ中央駅からも近いタイ&中国料理レストランの「SHANGRI-LA」というお店です。

遠くはローマ、ヴェネツィア、そしてボローニャからも参加していただき、総勢15名で楽しいひと時を過ごすことができました。

参加者は、竹下利明(I昭38)、松嶋一郎(I昭41)、大島悦子(I昭49)、松山二郎(I昭50)、鈴木道代(S昭52)、松田二郎(I昭52)、藤沼緑(I昭55)、中山悦子(I昭56)、今野里美(I平2)、一杉しげみ(I平2)、丸山圭子(I平6)、古川澄子(I平6)、工藤尚美(I平8)、戸澤敏子(I平9)、真鍋裕子(F平10)(卒業順、敬称略)。

参加者は女性が11名と圧倒的多数を占め、華やかで明るい雰囲気につつまれました。

12時から15時の閉会まで、各自の自己紹介や近況報告にはじまり、イタリア人の多い職場で日伊間の感性の微妙な違いや、イタリアで生まれたお子さんの日本語教育、あるいはお料理やモロッコ鍋を使った調理法など?ざっくばらんな意見交換などもできて、時の経つのを忘れたほどです。参加者は、卒業年代も学科も様々でしたが、いずれも「西ヶ原」校舎に通った同じベースのある仲間ということで話がはずみました。お腹一杯までタイ料理と中国料理を味わった後、時間の許す有

志で、近くのコーヒーショップでさらにおしゃべりをし、散会となりました。

なお、今回の総会は、長らく「休眠」していたイタリア支部が、去る2月12日に再開をした後の最初の総会となりました。代表幹事の松田二郎さんをはじめ幹事の方々の尽力により、名簿の作成も進み、現在、イタリア支部の登録者は27名です。地域的にはミラノが15名、ローマ3名、ヴェネツィア2名、その他フィレンツェ、パドヴァ、ボローニャ、アスコリピチェーノ、マッサなど各1名の構成です。

当面は、毎年1回総会開催ということで進めたいと思います。(イタリア支部会長)

第7回プラハ外語会、一橋如水会との合同懇親会

CZ 平 16 佐藤徳子

2010年11月19日、昨年もプラハ支部の懇親会を開催しました。昨年は転出者はいたものの留学生を除いて新規会員はおらず、当日の参加者は以下10名でした。板倉正毅(D昭36)、深見守(H昭37)、大井美和(D平3)、今林由佳(CZ平16)、金子由紀子(CZ平16)、佐藤徳子(CZ平16)、川合修治(R平16)、川合英里(R平17)、室谷佳世子(CZ平18)、佐々木歩美(CZ在学中)(敬称略)。

板倉会長がチェコにいらっしやっただばかりの頃のお話を伺ったり、皆さんがチェコ生活で日ごろ感じることにについて話し合ったり、ここ数年に比べて少人数の集まりではありましたが、アットホームな会になりました。

また、これより約1ヶ月前の10月8日には、一橋大学如水会プラハ支部との合同懇親会も行いました。如水会からは2名(全会員数は3名)、外語会からは6名と小規模でしたが、また機会があれば、他大学の同窓会とも交流したいと考えています。

